

「富岳」成果創出加速プログラム新規課題公募FAQ(令和3年5月28日更新)

	内容	質問	回答
Q1	申請	重複申請の制限について、令和2年度に採択され計算資源のみ配分された研究課題は、あらためて応募しても良いか。	令和2年度の実施課題については計算資源のみ配分された研究課題も含め、重複の申請は控えていただきたい。なお実施中の課題と内容に重複のない申請であれば、応募可能である。
Q2	申請	Q1に関連して、研究テーマをどれだけ変更したら重複のないテーマと見なされるのか基準はあるか。	類似性は研究分野ごとに様々であり、一概に基準はない。今回の公募では事業の概要にも示した通り、令和2年度の実施課題とは異なる観点での採択を想定しており、この審査の観点や事業の目的と照らして検討いただきたい。
Q3	申請	協力機関と連携機関の定義とそれぞれの役割はなにか。	協力機関は代表機関と共同研究契約を結ぶことで補助金の配分を受ける機関を指す。連携機関は代表機関から補助金等の配分は受けずに代表機関や協力機関で実施される課題内容について協力、連携を行う機関を指す。
Q4	実施内容	実施した期間内に利用したコード、開発したコードの公開義務をそれぞれ教えてほしい。	アプリケーションのアウトリーチをお願いしているため、他の研究者も含めて使えるような形に将来的には拡がっていくのが望ましいと考えている。開発したアプリケーションが研究課題の中だけに閉じない形で成果として世に拡がっていくよう成果公開等をお願いしたい。コードまで公開するかはケースバイケースであると考えている。また公開の方法は管理法人と相談しながら進めていただきたい。
Q5	実施内容	ウィズコロナ、ポストコロナ時代の新たな科学的・社会的課題とあるが、基本的にコロナに直接関連しない既存の科学・工学分野は今回は対象外なのか。	直接関係しないと対象外ということではない。公募要領の「2. 事業の概要(3)対象とする領域」に記載のとおり、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症等の感染症対策に資する成果</li> <li>・ウィズコロナ、ポストコロナ時代に求められる新たな社会インフラ構築</li> <li>・ウィズコロナ、ポストコロナ時代に求められる新たなものづくりやサービス等産業界の具体的課題の解決ものづくり等を公募の目的としており、コロナ対策やDXに直接的に資する課題でなくとも応募可能と考えている。</li> </ul> 申請にあたっては、本目的に留意のうえで検討いただきたい
Q6	予算・採択	前回の募集では、課題の内容により予算の大きいもの、小さいものの申請が可能だったと記憶しているが、今回は件数は3件程度、一件の予算は5000万円／年となるものを想定しているという理解で正しいか。	その通りである。
Q7	予算・採択	今回の公募では、計算資源のみの採択はないのか。	基本的には想定していない。

Q8	予算・採択	令和3年度採択決定はいつになるか。	令和3年6月末頃である。スケジュールは公募要領の40ページを参照していただきたい。
Q9	予算・採択	交付決定は令和3年7月下旬～8月上旬頃となっているが、申請時の開始時期は8月上旬以降であれば当方で決定しても良いか。	申請書への記載はそのようにしていただいて構わない。なお、実際の事業開始時期は交付決定日以降となる。
Q10	今後の計画	今後の公募予定を教えて欲しい。	未定である。